



課題

• 縦割りのビジネスユニット

住宅ローン、クレジットカード、当座預金、不動産担保ローン、消費者金融、中小企業向け融資など、銀行には取り扱い商品によって部門毎に顧客を別個に見る傾向があり、このような状況が犯罪者に格好の機会を与えている。

• 人員の不足

すべての疑わしい取引を検知・調査するために必要な分析担当者や調査担当者を確保できない。

• データ品質の低さ

異なるシステムが保持するデータ、またはサプライヤーやサードパーティから提供されるデータが未統合なため、データの完全度および信頼性が低い。

• 手口の変化

犯罪者は企業側のルールや閾値を盛んにテストし、自らのID情報を頻繁に変更して抜け穴を見つけ、不正行為を続けようとするため、既存の犯罪者情報を新設の口座や新規に導入されたアプリケーションで照合するのが難しい。

• 限定的な調査範囲

現行のデータモデルは個々の顧客単位でしか不正を検知できないので、リスクの高い関連性の検知や、顧客・口座・各種取引などの全体像の把握が困難。

• 誤判別の多発

疑わしい取引を単一の取引や顧客レベルのみで検知すると非常に多くの誤判別が出てしまい、調査担当者に多大な負荷をかけることになる。



SAS® FRAUD FRAMEWORK FOR BANKING

全社レベルで不正取引の検知・防止・管理を強化

概要

銀行および金融業界では不正取引が増加しており、経済情勢が不安定な局面においてはその傾向がより顕著になります。不正取引が増加しているという事実は、不正の検知・防止がいかに難しいかということをお話しています。振り込め詐欺、マネーロンダリング、ハッカー、なりすまし、などの不正取引において、犯罪者は常に手口を変更し、異なるチャンネルに狙いを定め、従来の不正管理の手法では太刀打ちできない新手の攻撃を次々と仕掛けてくるのです。

多くの銀行は不正取引を検知するために取引を監視するシステムを導入していますが、その多くは手作業による介入を必要とするものです。従来のシステムは個別の店頭取引の不正をリアルタイムで検知することはできません。すべてのコンタクト・チャンネルおよび商品にかかわる顧客行動を監視し、ソーシャル・ネットワークを利用した不正やチャンネル横断の不正行為を見つけ出すことができる全社規模の強力な不正管理プログラムを採用している銀行はまだ少数だからです。

SAS Fraud Framework for Bankingは、このような難題の解決に力を発揮します。

導入効果

銀行業界においてさまざまなレベルで不正取引が横行していることから、不正取引の検知および防止は重要な業務課題になってきています。

しかし、不正取引による実際の損失額を数値化することは難しく、しかもそのために必要な経費は増加しています。銀行は不正取引に対抗するためのシステムやプロセスを導入すれば効果が見込めることに気づいてはいるものの、現実にはほとんどが従来どおりのサイロ型アプローチを続け、それぞれのビジネスユニットやチャンネルで異なるシステムやデータベースを使用しており、未整理かつ寄せ集め的な状態が放置されています。このようなアプローチは非効率で経費の無駄につながるだけでなく、必要な洞察を得ることができないので、高度かつ巧妙な不正取引には太刀打ちできません。

SAS Fraud Framework for Bankingは不正分析エンジンを搭載し、以下の多彩な手法を駆使して、複数の口座やチャ



すべての業務を横断的に調査し、不正取引の検知・防止・管理を強化

SAS Fraud Framework

SAS Fraud Framework for Banking は、今日の銀行が展開する多様な事業を横断的に調査し、金融犯罪を検知・防止・管理するためのエンド・トゥ・エンドのフレームワークです。

このフレームワークには、不正検知、アラート管理、ケース・マネジメント、さらにカテゴリ別のワークフローやコンテンツ管理、高度な分析といったコンポーネントが含まれています。

これらのコンポーネントは、隠れた高リスクな顧客間ネットワークを調査担当者に明確に示す、トップダウンおよびボトムアップ両方の機能を提供するソリューション SAS Social Network Analysis と完全に統合されています。

SAS のアプローチは高度な不正検知機能を提供して、疑わしい取引の報告 (SAR) 管理義務を果たすために必要な深い洞察をもたらし、さらに業務効率の改善に役立つだけでなく、TCO (総所有コスト) の面からも不正に伴う支出を減らしていきます。

ネルで実行されるあらゆる取引の不正傾向を採点していきます。

- 自動化されたビジネスルール
- 予測モデリング
- テキスト・マイニング
- データベース検索
- 例外レポート作成
- ネットワーク・リンク分析

不正行為の可能性が検知されると調査担当部門にアラートが自動転送されるので、調査担当者はケース・マネジメント・ツールを使って迅速に調査を進めることができます。

疑わしい取引の評価と重大性による優先順位づけが終わると、調査担当者が関連する取引や口座にも不正の可能性がないか判断するため、その顧客または取引についてより詳細に追跡調査することができます。

主な機能

SAS Fraud Framework for Banking には次のようなコンポーネントがあります。

不正検知およびアラート生成

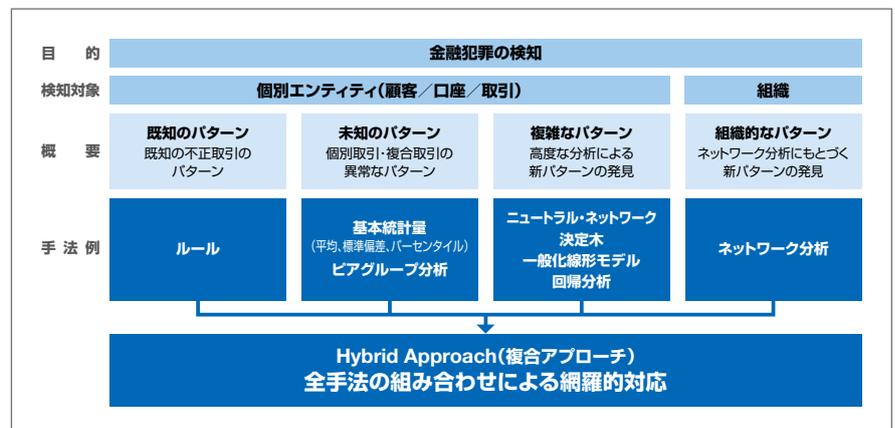
次のような領域において疑わしい取引を体系的に検知することができます。

• マネーロンダリングの防止

規模の大小にかかわらず、各金融機関がもつマネーロンダリング防止プログラムに合った独自のソリューションを取り揃えて、実績ある方法論とともに提供する。

• クレジットカードやデビットカードの不正使用

市場で唯一、クレジットカードとデビットカードの両方に対応したソリューションを提供し、購入・支払・非貨幣取引といったあらゆるカード取引をリアルタイムで 100% スコアリングできるので、顧客保護の強化と不正取引が招く損失の削減を実現する。



不正利用対策におけるアプローチ: Hybrid Approach (複合アプローチ)

• First-Party Fraud

SAS Social Network Analysis は SAS Fraud Framework for Banking と完全に統合されているので、個人別や口座別の視点だけでなく、関連するすべての取引や関係を“ネットワーク”という観点から分析し、First-Party Fraud^{*}の検知と予防をサポートする。

^{*}個人が自身の ID または偽造した ID 等を使用し、自身の利益のために犯す不正行為のこと

アラート管理

アラートは、複数の検知手法を組み合わせた複合アプローチを採用する取引モニタリング・システムで生成され、通常の口座情報や顧客情報と関連付けた上で、調査担当者により総合的なリスク情報を提供します。さらに、次のような機能も装備しています。

• リスクスコアの計算

各アラートには、取引の特性にもとづいたリスクスコアが付与される。

• アラートの優先順位付け

リスクスコアは、リスクベースド・アプローチを可能にし、調査担当者の業務効率性を向上させるとともに検知率の向上と損失の削減に貢献する。

• 作業の割当

アラートは、ユーザーが設定したルールに従って調査担当者や分析担当者に自動割当される。

ソーシャル・ネットワーク分析

SAS Social Network Analysis は SAS Fraud Framework for Banking と完全に統合されたコンポーネントで、調査担当者による不正行為の検知と防止を支援します。トランザクション別や顧客別の視点だけでなく、例えば住所や電話番号、雇用関係、口座所有者、他の主要な取引データなど、ネットワーク内で行われた関連性のある活動や関係のすべてを分析します。

• 調査担当者の効率向上

視覚的なインターフェイスにより、顧客および関連性のある団体やネットワークに関する詳細な情報へ即時にアクセスすることができるので、特定の顧客などを取り巻くネットワークについて総合的な調査・記録が可能。

• 未知の関係性を発掘

調査担当者はネットワークを視覚化する独自のインターフェイスを利用して、一見無関係に見える口座や取引の中に潜んでいる関係性を明らかにできる。

• 不正行為には個別のスコアと総合スコアを付与

顧客・口座・ネットワークにもとづいたリスクの全容を評価。

ケース・マネジメント

SAS Fraud Framework for Banking は、ケースに関連するすべての情報を収集・表示し、調査を促します。さらに次のような機能も搭載しています。

• 不正行為に関する情報を保管

面談記録、刑事・民事の告発に必要な証拠、賠償請求および取立に関する情報も蓄積。

• 組織全体の不正リスクを評価

不正取引により発生した損失に加えて、不正の検知や防止により回避した損失も明確化。

• ケースの割当

アラートの調査担当者への自動割当。

• 構成変更可能なワークフロー

ケースを自在に管理し、問題解決を促進。

主な利点

不正行為による損失を削減

SAS Fraud Framework for Banking は、次のような方法によって不正取引による損失を削減します。

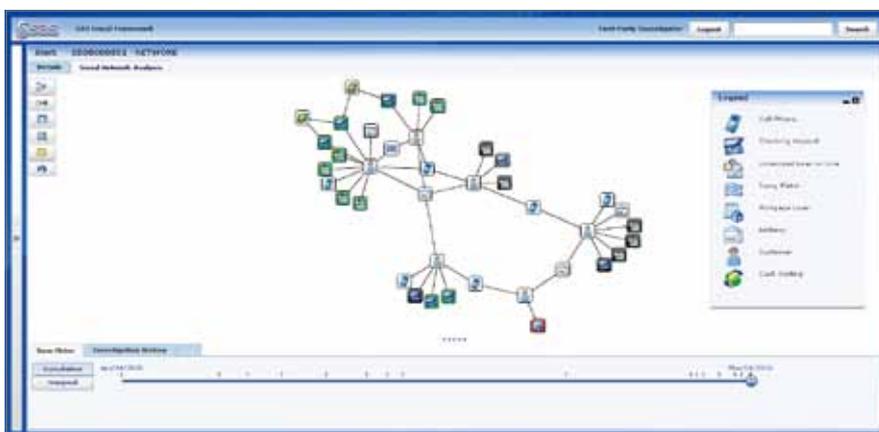
- 不正取引による損失を適切に識別・分類することで問題を正確に数値化する。
- すでに把握している犯罪者をデータベースから検索し、システム内に蓄積されている不正取引の結果や紹介者、容疑者などのあらゆる情報を集めて再利用し、大規模な損失を未然に防ぐための段階的な措置を講じる。
- 従業員データと誰がどの取引を担当したかという監査記録とを統合し、インサイダー取引や共謀関係が絡んだ不正行為を検知する。

疑わしい取引の報告 (SAR) のための管理統合

疑わしい取引の報告 (SAR) の義務は金融機関の多くの領域に当てはまりますが、コンプライアンス担当役員が最大の責任を負うこととなります。SAS Fraud Framework for Banking は次のような機能を提供し、多くの報告義務を容易に統合し管理できるようにします。

• 頑健なレポート作成機能

直感的に認識できるレポーティング・インターフェイスを採用し、ケース評価の効率化と、詳細な顧客データや関係す



ネットワーク分析：組織犯罪の発見手法

- ・あらゆる情報をリンクし、隠れた関係性 (ネットワーク) を講成し、ビジュアル化
- ・ネットワークを評価し、調査対象となる疑わしいネットワークをアラートとして抽出する

る団体およびネットワークのすべてに迅速にアクセスできるようにする。

- 監査の改善
 - ワークフロー・ベースのシステム
- Web ベースのワークフロー環境が、各ケースのリスク要因をテキストで提供。

業務効率の向上

SAS Fraud Framework for Banking は次の機能によって業務効率化を推進します。

- 手作業で行われていたプロセスを自動化する。
- 分析担当者や調査担当者は、単一のコントロール・ポイントを利用することで関連する情報やシステムのすべてにアクセス可能となるので、システム間を行ったり来たりするといった非効率を回避することができる。

不正リスクに関する総合的なビューを提供

SAS Fraud Framework for Banking は不正リスクに関する総合的なビューを提供することによって、次のようなメリットをもたらします。

- 顧客が行う取引を全商品にわたって確認できるので、商品を変えて行われる不正行為も見逃さず捉えることができる。
- 継続的にモデルの改善を図り、常にシステム調整を行って、不正手口の変化に対応。
- ソーシャル・ネットワーク図や高度なデータ・マイニング機能を活用することによって新手の不正の脅威に対する理解を深めると同時に、大規模な損失を早期に食い止める。

競争力の強化

SAS Fraud Framework for Banking は、次のような機能によって企業の競争力強化にも効果を発揮します。

- 誤判別が減少するので顧客満足度が高まる。
- 詐欺犯罪者たちは他の金融機関をターゲットとせざるを得なくなる。
- 高度な不正管理を行うことで、監督機関や格付会社からの厳しい要求にも対応することができる。



THE
POWER
TO KNOW.

SAS Institute Japan株式会社 www.sas.com/jp

本社 〒106-6111 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 11F
大阪支店 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-16 アクア堂島西館12F

jpnsasinfo@sas.com

Tel: 03 6434 3000 Fax: 03 6434 3001
Tel: 06 6345 5700 Fax: 06 6345 5655